

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年7月21日(2023.7.21)

【公開番号】特開2022-67309(P2022-67309A)

【公開日】令和4年5月6日(2022.5.6)

【年通号数】公開公報(特許)2022-079

【出願番号】特願2020-175946(P2020-175946)

【国際特許分類】

A 63 F 5/04 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 5/04 611 A

A 63 F 5/04 602 D

A 63 F 5/04 611 B

【手続補正書】

【提出日】令和5年7月12日(2023.7.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

所定のカウンタと、

所定のレジスタと、を備え、

メイン処理と、タイマ割込み処理を実行可能とし、

メイン処理は、割込みを禁止する命令から割込みを許可する命令まで割込みを禁止する割込み禁止状態を有し、

割込み禁止期間の設計上の最大時間を「S」とし、所定のカウンタの値がタイムアウトする周期の時間を「T1」とし、タイマ割込み処理の設計上の処理期間を「T2」としたとき、「T1 - T2 > S」となるように構成され、

所定のカウンタの値を更新しタイムアウトすると、所定のレジスタに割込み要求があったことを示す情報を記憶可能に構成され、

所定のレジスタに割込み要求があったことを示す情報を記憶している状況が割込み許可状態である場合は、タイマ割込み処理を実行可能に構成され、

所定のレジスタに割込み要求があったことを示す情報を記憶している状況が割込み禁止状態である場合は、所定のレジスタに記憶されている割込み要求があったことを示す情報をクリアせず、割込み許可状態となった後にタイマ割込み処理を実行可能に構成され、

割込み禁止状態である場合でも所定のカウンタの値を更新可能に構成され、

割込み禁止状態でタイムアウトをN回(Nは、2以上の数値)した場合であっても、割込み許可状態となった後に割込み禁止状態でタイムアウトをN回したことに基づいてタイマ割込み処理がN回連続して実行されないように構成され、

タイマ割込み処理を実行する際に、所定のレジスタに記憶されている割込み要求があったことを示す情報をクリア可能に構成され、

タイマ割込み処理を実行する際に割込み禁止状態となり、タイマ割込み処理を終了する際には、タイマ割込み処理を終了するための復帰命令の直前に割込み許可命令を実行するように構成され、

タイマ割込み処理を終了するための復帰命令の直前の割込み許可命令を実行した直後であってタイマ割込み処理を終了するための復帰命令の直前にはタイマ割込み処理が実行されないように構成される

30

40

50

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する（かっこ書きで、対応する実施形態の構成を示す。）。

本発明（第13実施形態）は、

10

所定のカウンタ（8ビットカウンタ501）と、

所定のレジスタ（割込み待ちモニタレジスタ301）と、を備え、

メイン処理（図97）と、タイマ割込み処理（図232）を実行可能とし、

メイン処理は、割込みを禁止する命令（DI命令、又はCALLEX命令）から割込みを許可する命令（EI命令、又はRETEX命令）まで割込みを禁止する割込み禁止状態を有し、

割込み禁止期間の設計上の最大時間を「S」とし、所定のカウンタの値がタイムアウトする周期の時間を「T1」とし、タイマ割込み処理の設計上の処理時間を「T2」としたとき、「T1 - T2 > S」となるように構成され、

所定のカウンタの値を更新しタイムアウトすると（図233中、「T1」）、所定のレジスタに割込み要求があったことを示す情報を記憶可能に構成され（割込み待ちモニタレジスタ301をオンにし）、

20

所定のレジスタに割込み要求があったことを示す情報を記憶している状況が割込み許可状態である場合は、タイマ割込み処理を実行可能に構成され、

所定のレジスタに割込み要求があったことを示す情報を記憶している状況が割込み禁止状態である場合は、所定のレジスタに記憶されている割込み要求があったことを示す情報をクリアせず、割込み許可状態となった後にタイマ割込み処理を実行可能に構成され、

割込み禁止状態である場合でも所定のカウンタの値を更新可能に構成され、

割込み禁止状態でタイムアウトをN回（Nは、2以上の数値）した場合であっても、割込み許可状態となった後に割込み禁止状態でタイムアウトをN回したことに基づいてタイマ割込み処理がN回連続して実行されないように構成され（図235）、

30

タイマ割込み処理を実行する際に、所定のレジスタに記憶されている割込み要求があったことを示す情報をクリア可能に構成され、

タイマ割込み処理を実行する際に割込み禁止状態となり、タイマ割込み処理を終了する際には、タイマ割込み処理を終了するための復帰命令の直前に割込み許可命令を実行するように構成され、

タイマ割込み処理を終了するための復帰命令の直前の割込み許可命令を実行した直後であってタイマ割込み処理を終了するための復帰命令の直前にはタイマ割込み処理が実行されないように構成される

ことを特徴とする。

40